

GREEN Rader

全農長野県本部情報 グリーンレーダー

2026

8

Vol.567



A-Reports 「全農長野県本部会員会議」開催

重点事業方針

A-Policy くらし支援部 燃料・ホームエネルギー課の取り組み

A-Reports

- | | | | |
|---|----|--|----|
| ・豊洲市場で南佐久野菜トップセールス | 4 | ・ファミリーマートで長野県産食材を使用した商品を発売 | 11 |
| ・JA直売所・店舗および組織・女性部担当者向け「商品見本市」を初開催 | 4 | ・子会社等が定時株主総会、通常総会を開催 | 11 |
| ・7月2日は「夏の長野県産レタスの日」！各地でプロモーション | 5 | | |
| ・JA松本ハイランド産ハウスすいか・ハウスデラウエアの
トップセールスを開催 | 7 | ・地域密着型スーパー「デリシア」の3店舗に
果実・野菜の“全農長野売場”を展開 | 12 |
| ・長野県3JA合同カーネーション市場販促・産地フェアを実施 | 8 | ・JA全農長野の事業現況 | 12 |
| ・御嶽海関を県産農畜産物で応援 出羽海部屋の木曾合宿で贈呈 | 8 | ・8月のラジオ番組表 | 12 |
| ・JA佐久浅間産 特別栽培米の試食宣伝会を開催 | 9 | ・経友会情報 | 12 |
| ・長野県産米春のお米キャンペーンを実施 | 9 | | |
| ・下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ | 10 | | |
| ・自転車レースで「野菜ときのこのたっぷり汁」振る舞い | 10 | | |



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

「全農長野県本部会員会議」開催

J A全農長野は6月29日(月)、J A長野中央会および各連合会の通常総会と同日に、会員会議を長野市のJ A長野県ビル(アクティホール)で開催しました。

会議では「令和7年度事業報告」を審議し、原案どおり承認されました。また、「運営委員の補欠等の選任」についても、原案どおり承認されました。



開会挨拶をする神農会長

■運営委員選任結果

新たに4名の方が選任され、16名の運営委員は別表のとおりとなりました。

■令和7年度の事業概況

世界的に食料安全保障の重要性が高まる中、資材やエネルギー、物流費は上昇し、農家経営への影響が深刻化しています。しかし、コスト上



令和7年度の事業報告をする長谷川県本部長

昇分の価格転嫁が十分に進まないことから、再生産可能な取引価格の実現が課題となっています。さらに、県内では担い手不足が進行し、生産基盤の維持に加え、組合員構成の変化を踏まえたJ A経済事業の一層の進展を図る必要があります。

こうした中、全農長野は「中期事業計画(令和7～9年度)」の初年度として、①持続可能な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持・拡大 ②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化 ③J A経済事業の収支改善と活気ある地域社会づくりの3点を事業運営の基本目標としました。あわせて、総合経営管理制堅持の下、農家組合員の営農とくらしへの貢献とJ A経済事業の確立に取り組みしました。

長野県本部運営委員会 委員名簿(敬称略)

職務	氏名	所属J A・役職	備考
会長	神農 佳人	J A グリーン長野	会長
副会長	眞島 実	J A 信州うえだ	会長
委員	津金 一成	J A 長野ハケ岳	代表理事組合長
委員	高柳 利道	J A 佐久浅間	代表理事組合長
委員	丸山 勝也	J A 信州うえだ	代表理事組合長 (新任)
委員	小平 淳	J A 信州諏訪	代表理事組合長
委員	西村 篤	J A 上伊那	代表理事組合長
委員	中村 彰	J A みなみ信州	代表理事組合長
委員	亀子 宗樹	J A 木曾	代表理事組合長
委員	田中 均	J A 松本ハイランド	代表理事組合長
委員	寺澤 武憲	J A 洗馬	代表理事組合長 (新任)
委員	宮澤 清	J A あづみ	代表理事組合長
委員	山本 雅彦	J A 大北	代表理事組合長 (新任)
委員	栗林 和洋	J A グリーン長野	代表理事組合長
委員	望月 隆	J A 中野市	代表理事組合長
委員	小林 武郎	J A ながの	代表理事組合長 (新任)

①持続可能な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持・拡大

農業振興分野では、消費動向や生産実態を踏まえ、果菜類やアスパラガス等で単収向上と生産拡大に向けた施設化提案や品種、栽培法の実証試験に取り組みました。また、リンゴ高密度栽培のモデル圃での実証、遮熱ネット等の高温対策試験など、気候変動への対応を図りました。さ

らに、排水対策技術の普及や関連機械の導入支援、担い手推進センターによる訪問を通じた課題解決型の営農支援を展開し、生産基盤の維持・強化を進めました。資材・機械分野では、省力・低コスト資材の活用やドローン散布等により作業の省力化・効率化の推進および農業機械の整備体制強化に取り組みました。施設分野では、JA施設の更新・再編や省エネ化に対応しました。あわせて、データ活用による営農支援の高度化などDXを推進し、生産性向上と担い手支援の強化を図りました。

②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化

生産販売分野では、米穀および青果物の安定供給と有利販売に取り組みました。米穀については需給逼迫への対応として安定集荷と販売を確保するとともに、早期契約の推進により手取り確保を図りました。青果物については、気象変動や消費低迷の影響を受ける中で、契約取引の拡大や加工・業務事業者との連携、販促や食育・花育活動の展開により需要創出に努めたほか、物流合理化や輸出拡大にも取り組み、販売力強化を進めました。また、販売業務（予約・出荷報告・荷受・出荷）のデジ

タル化による業務効率化と、データ活用による営業活動の高度化に向けたDXの取組を進めました。

生産購買分野では需要結集やメーカー交渉、原材料・規格の見直し等により、価格抑制と安定供給の両立を図りました。段ボールについてはJA渡し価格の引き下げを実施し、生産者負担の軽減を図りました。

③JA経済事業の収支改善と活気ある地域社会づくり

畜産酪農分野では、飼料価格高騰による厳しい環境の中で、生産基盤の維持と販売力強化に努めました。販売先と連携した「信州プレミアム牛肉」の輸出強化やブランド力向上、酪農における乳価改定やPRを通じた需要喚起により、生産者所得の確保と生乳の生産実態への理解醸成に取り組みました。また、令和9年度末の松本食肉処理施設の閉鎖を見据えた、新たな流通体制の構築を進めました。

くらし支援分野では、石油・LPGガス・でんき事業を通じて生活インフラの安定供給に取り組みとともに、会員サービスやデジタル活用により顧客接点の拡充と利便性向上を図りました。さらに、住環境改善・自動車・セレモニー・組織購買・

Eコマース事業により、組合員のくらし支援と地域密着型サービスの充実を進めました。

④総合経営管理体制の堅持による県域機能の発揮

総合経営管理体制の下、JAおよび子会社との一体的な事業展開を推進し、県域経済事業の競争力強化と収支改善に取り組みました。DXの取組みとしては、JA・取引先を含めた業務効率化や、データ活用による意思決定の高度化を進めるとともに、生成AIやBツールの導入・活用促進により組織全体の生産性向上を図りました。さらに、コンプライアンスおよびリスク管理の徹底、人材育成や働き方改革、採用強化、広報活動の充実を通じて、組織基盤の強化と信頼性向上を進めました。あわせて、組合員・JAに対しては、県本部独自対策や各種奨励による総額9億9,600万円の還元に加えて、段ボール生産者渡し価格の低減を図るため、約5,200万円を価格に直接折り込んで供給しました。

以上の結果、令和7年度は米価高騰の影響があったものの、異常気象による果実の集荷数量減少や野菜の単価不振が響き、総供給販売高は

2,723億円（前年比98%・計画比101%）となりました。一方で、事業管理費の削減（計画比96%）と運営の効率化により、税引前当期利益は5億5,200万円（計画比276%）となりました。

■持続可能な農業の確立と食料安全保障の強化に向けた緊急決議（要約）

長野県JAグループは、資材価格高騰の常態化や担い手不足、自然災害の激甚化など、農業を取り巻く厳しい情勢の下、燃料・生産資材の価格上昇や供給不安も懸念される中、適正な価格形成の実現に向け「信州産もっと推し党」を通じて国消国産運動の推進に総力を挙げて取り組みます。あわせて、組合員と担い手が希望を持って営農を継続できる環境の実現に向け、必要な対策を講じるとともに、食料安全保障の観点から行政への支援要請を行うことについて、満場一致で決議されました。

燃料・ホーム
エネルギー課

くらし支援部 燃料ホームエネルギー課の取り組み

「ENEOS 公式アプリマイカー登録機能」の推進について

ENEOS公式アプリは2022年7月のリリース以来、多くの利用者に支持され、2026年1月には会員登録者数が2,000万人を突破しました。また、2025年1月末からは新機能として「マイカー登録機能」が追加され、給油だけでなく、カーライフ全般をサポートするアプリへと進化しています。

長野県JAグループのJA-SSSでは、店頭でENEOS公式アプリのダウンロードやマイカー登録をしていただいたお客様へ、BOXティッシュをプレゼントしています（一部未実施の店舗がございます）。さらに、8月5日(水)から9月30日(水)の期間中に初めてマイカー登録され

た皆様に、もれなく200円相当の「えらべるpay」をプレゼントするキャンペーンを実施しています。ぜひこの機会にアプリをダウンロードのうえ、マイカー登録機能をご利用いただき、より便利で快適なカーライフをお送りください。

JA全農長野燃料・ホームエネルギー課では今年度、マイカー登録件数5,200件を目標として取り組み、ENEOS公式アプリおよびマイカー登録のさらなる普及拡大を進めていくとともに、石油・LPGガス・JAでんきによるホームエネルギー事業を展開してまいります。

マイカー登録機能は、自動車検査記録事項の二次元コードをスマートフォンで読み取るだけで簡単に登録できます。登録した車両情報はアプリ上で一元管理され、車検証明書に加えて車両のカタログ情報も自動で反映されます。これにより、車検や点検、オイル交換などのメンテナンス時に必要な情報をすぐに確認できるほか、車検満了日や燃費の管理にも活用できます。さらに、登録した愛車の価格相場を確認できる「エネゴリくんマイカー相場」も利用できるため、日々のカーライフの利便性向上につながります。

**エネゴリくん
マイカー相場** β版



今月の相場価格は
¥600,000

予想最高価格 60万円
予想最低価格 9万円

表示価格は当社独自の試算によるもので金額はご参考です。
中古車は1台ごとに車両状態が異なるため、実際の買取価格を保証するものではありません。

次へ

**カンタン10秒/
マイカー登録方法**

STEP 01
マイカーページ欄で「設定する」を選択

STEP 02
車検証の二次元コードを読み取る

STEP 03
マイカーページが確認できます



エネゴリ君マイカー相場のスマートフォン画面と登録方法

ENEOS アプリ
…… マイカー登録で
**もっと便利に！
もっとおトクに！**

マイカー登録をすると、給油がもっとスムーズに。
おトクな特典や便利な機能が使えるようになります！

マイカー登録で受けられる3つのメリット

① 給油がもっとスムーズに！

車種やナンバーの入力なしで、給油履歴が自動で記録される！



給油履歴の確認もラクラク！

② あなただけの特典が盛り！

登録したお車に合わせたクーポンやキャンペーン情報をお届け！



おトクな情報を見逃さない！

③ メンテナンス時期をお知らせ！

オイル交換や車検の時期が近づくとアプリでお知らせ！



大切な愛車をしっかりサポート！

(東京販売事務所)

豊洲市場で南佐久野菜トップセールス

J A長野八ヶ岳、J A川上物産、J A川上そ菜販売で構成する南佐久野菜協議会と南佐久管内の行政5町村*、およびJ A全農長野は7月6日(月)、京浜地区代表卸売会社との販売推進会議、7日(火)に東京都中央卸売市場・豊洲市場でトップセールスを開催。出荷最盛期を迎えた南佐久の高原野菜を市場関係者や仕入れに訪れた実需者にPRしました。

豊洲市場のトップセールで、同協議会会長のJ A長野八ヶ岳津金一成組合長は、「我々南佐久の地は、標高1,000～1,400mに渡って広大な耕地面積を有しており、今年産は4月より出荷をスタートしました。今年は梅雨らしい梅雨となり、美味しい野菜がしっかりとできています。露地野菜は豊作のときは荷がだぶつき、気象の影響があると不足する大変難しい品目ですが、安定生産に向けて努力をしていきたい。買参人の皆様には、消費者に少しでも多く高原野菜を買ってもらえるよう販売促進をお願いしたい。また、夏は冬と違い生産する上での経費が余計にかかるが、冬も夏も価格は同じなのが実態である。ぜひこの機会に行政も含め関係者が一丸となって、夏場の野菜の適正価格について、消費者への理解醸成につとめていただきますようお願いします」と挨拶しました。場内では、南佐久野菜協議会のキャラクター「ななちゃん」印の箱にレタス2玉と浅漬けの素、暑さ対策グッズを詰め込んだギフト箱を配布し、用意した150箱はまたたく間になくなり好評でした。

また、6日の京浜地区の主要卸売会社6社との推進会議では、現在までの生産状況および販売情勢を共有するとともに、今後の販売対策を中心に意見交換を行いました。

同管内での本年度の野菜生産計画量は2,567万ケースで、夏野菜では国内最大級の産地として11月中旬まで全国に向けて出荷を予定しています。南佐久野菜協議会は、「八ヶ岳高原野菜」のブランドを維持し、信頼される恒久的な野菜産地を目指して、管内の行政5町村と協調し、今後も各種事業を展開してまいります。

*小海町、北相木村、南相木村、南牧村、川上村

表紙下＝市場で南佐久野菜をアピールした協議会・4町村の代表者

(くらし支援課)

J A直売所・店舗および組織・女性部担当者向け「商品見本市」を初開催

J A全農長野くらし支援課は、7月7日(火)にJ A長野県ビル、8日(水)にJ A松本ハイランド「グリーンパル」で、J A直売所や女性部担当者などを対象とした「商品見本市」を初開催しました(＝表紙右上)。

くらし支援課では、今年度の重点目標の一つに「J A直売所へのエコープマーク品の販路拡大」を掲げており、その取り組みの一環として企画しました。2日間で、J A担当課長、直売所運営者や店長や仕入れ担当者、組織担当者、女性部事務局や役員、全農職員など計178名が来場しました。

両会場には取引先15社が出展し、推進商品の展示や試食を実施。来場者は各ブースを巡りながら商品を手に取り、担当者から商品の特徴やこだわり、活用方法などについて説明を受けました。



来場者に試飲を勧める出展者

参加者からは「商品の比較や製造工程の説明などを聞くことができ販売の参考になった」「今回のように見本市を開いてもらえると、商品のパッケージを見られるのでとても良い」「景品や粗品で使える商品があった」といった声が聞かれました。また、「陳列イメージがあると店舗で参考にできる」といった要望も頂きました。開催後日には参加拠点から多くの発注をいただきました。

今回の見本市を通じて、出店者と来場者が直接対話をしながら商品の理解を深める機会となり、今後の販売拡大に向けた有意義な催しとなりました。

生産販売部

7月2日は「夏の長野県産レタスの日」！各地でプロモーション

J A全農長野は、7月2日を7(な)2(つ)のごろ合わせて「夏の長野県産レタスの日」として令和6年に制定しました。夏場の全国トップシェアを誇る長野県産レタスのおいしさや魅力を多くの皆様にご案内いただき、各地でプロモーションを行いました。

大阪

■日にち：6月23日(火)・30日(火) ■場 所：大阪駅前第一ビル

信州野菜推進協議会（京阪神中四国地区）・長野県大阪事務所と合同で、販促イベントを行いました。協議会役員にも売り場に立っていただき、レタス、サニーレタスをはじめ、ブロッコリー、ズッキーニ、キュウリ、茶えのき、株なめこ、黒あわび茸、信州プレミアム牛肉を使用したレトルトカレーを販売。長野県産農畜産物の魅力を売り込みました。

また、産地を代表してJ A佐久浅間の茂木常務にお越しいただき、レタスの日のPRと産地の実情をお客様と対話しながら説明していただきました。



名古屋

■日にち：7月2日(木) ■場 所：名古屋市中心卸売市場北部市場「セントライ青果」



名古屋販売事務所の職員がPRイベントを開催。野菜担当が、より一層の販売拡大と継続した消費を呼びかけました。試食にはキューピー(株)協力による「レタスタっぷり！サラダうどん」を提供し、同メニューのレシピカードやノベルティを配布しました。

また、流通関係の皆様へ向けて、生産コストが上昇している実態を伝え、価格が低迷しているレタス類を中心に、一層の取引拡大のお願いと消費喚起に活用もらおうとレシピやPOPを配布しました。



東京

■日にち：6月26日(金)・27日(土) ■場 所：ルミネ新宿「アグリマルシェ」



2日間でレタス960玉、えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、株なめこのきのこセット600セットが完売となりました。お客様から「長野県産のレタス、おいしいので毎日食べています」「新鮮でおいしそう」「きのこは良く食べるから詰め合わせでうれしい」と大変好評でした。

東京

■日にち：6月24日(水)～7月22日(水)

■場 所：800° DEGREES NEAPOLITAN PIZZERIA (ニューマン新宿)

長野県産レタス・サニーレタス・グリーンリーフレタスを期間限定で「グreekサラダ」と「チョップドミートサラダ」に使用。サニーレタスを贅沢に半玉使用した「半玉サニーレタスのウェッジサラダ」も販売されました。

軽井沢

- 日にち：6月26日(金)～7月10日(金)
■場 所：軽井沢プリンスホテル Primrose

ビュッフェレストランのサラダバーに、長野県産レタス、サニーレタス、グリーンリーフレタスとセルリーを使用。県外やインバウンドのお客様に県産レタスのおいしさや鮮度などの魅力を発信しました。



長野

- 日にち：7月1日(水)・2日(木)
■場 所：フルーツカンパニー MIDORI長野店

長野駅ビルの青果店で、試食を提供し特別販売を行いました。全農長野の職員も店頭に立ち、長野県産レタスの日をPR。テレビ報道もあり、売れ行きも好調でした。

長野

- 日にち：7月2日(木) ■場 所：長野市立通明小学校

6年生4クラス120名を対象に、給食の時間に食育の時間を取っていただきました。全農長野の職員が「長野のレタスのおいしさの秘密」や「長野県の野菜の特徴」を話しました。児童は「長野県産レタス入りスープ」を食べながら説明に耳を傾けました。



全国

- 日にち：6月中旬～7月1週目
■場 所：全国の量販店

全国の約500店舗でレタスの日に合わせた宣伝会を実施しました。レタスの日のPOPやうちわを活用し試食を提供して販売促進につなげました。



推しレシピの「レタスステーキ」

SNS

- 日にち：5月27日(水)～7月2日(木)

野菜きのこ課のインスタグラムをフォローし「#7月2日は夏の長野県産レタスの日」とコメントした方にレタス詰め合わせをプレゼントするキャンペーンを実施。3,000人のフォロワーが増加しました。



コンビニ

- 日にち：6月30日(火)～7月13日(月)
■場 所：ファミマビジョン（長野県、埼玉県、神奈川県のファミリーマート）

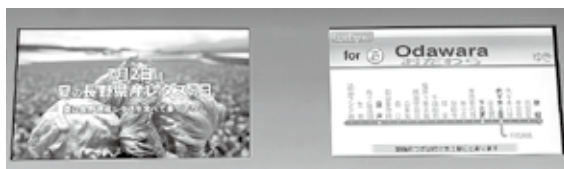
レジ上のファミマビジョン（デジタルサイネージ）で、「レタスミックス」「白菜サラダ」の商品パッケージと産地動画でPR。



交通広告

- 日にち：6月22日(月)～7月5日(日) ■場 所：小田急線車内、新橋駅

デジタルサイネージへ動画広告を放映。大勢の利用者に長野県レタスの魅力を発信しました。



(営業課 市場営業グループ)

J A松本ハイランド産ハウスすいか・ハウスデラウエアのトップセールスを開催

(株)R & Cながの青果松本支社において、6月12日(金)にJ A松本ハイランド産ハウススイカ、19日(金)にハウスデラウエアのトップセールスが開催されました。

12日は前日に初出荷を迎えたJ A松本ハイランド産ハウススイカの各品種を展示し、来場した買参人の皆様へ試食を提供。鮮度抜群な味わいを確かめていただきました。

トップセールスでは、同J Aの田中均組合長が「松本ハイランド産のおいしさの秘訣は、圃場での試し切り・共選所での検査員の目視・機械によるセンサー通しの3つ。これらのチェック体制により、糖度・シャリ感を全品確認し、美味しさの基準を確立していることです。地元の皆さんに地元のすいかをたくさん食べていただきたいと思います。資材の高止まりが続く中ではありますが、昨年度を上回る販売のご協力をよろしくお願いいたします」と挨拶しました。続いてR & Cながの青果の西澤智成松本支社長より「今年も甘くシャリ感のある例年通りのすいかに仕上がっています。露地を含め3カ月にわたる販売、何卒よろしくお願いいたします」との言葉がありました。

その後に行われた初競りでは、昨年を上回る価格が付くなど大いに盛り上がり、多くの関係者が集まる中、本格的なシーズン開始を広くPRする機会となりました。



昨年度を上回る価格が付いた初競り

R & Cながの青果西澤支社長とJ A松本ハイランド田中組合長

翌週の19日はJ A松本ハイランド産ハウスデラウエアのトップセールスを開催し、買参人の皆様を対象とした試食会も実施しました。

田中組合長と西澤支社長が挨拶し、本年度のぶどう販売への期待とともに、デラウエアの出荷開始を力強くPRしました。本年のハウスデラウエアは、実止まりや着色の進み具合も良好で、順調な仕上がりと なっています。

セレモニー終了後には競りが行われ、シーズン開幕にふさわしい活気あふれるトップセールスとなりました。



西澤支社長と田中組合長



熱気に満ちた競り

J A全農長野 市場営業グループでは、今後も県産農産物の消費拡大に向け、市場や実需者との連携を図りながら、旬の魅力を積極的に発信し、リピーターの獲得につながる販売提案や企画を展開してまいります。

(果実花き課、東京販売事務所)

長野県3 J A合同カーネーション市場 販促・産地フェアを実施

J A全農長野果実花き課と東京販売事務所は、これから出荷最盛期を迎える長野県産カーネーションのPR活動として、県内主産地であるJ A信州諏訪、J A佐久浅間J A松本ハイランドの3 J A合同による市場展示および産地フェアを実施しました。

市場展示は6月22日(月)～26日(金)に(株)大田花きで行い、約40品種の色鮮やかなカーネーションを展示しました。また26日の競り前の挨拶では、生産量日本一を誇る長野県産カーネーションの品質の高さを市場関係者へPRしました。

産地フェアは、26日に大田市場内の仲卸である大森花卉で、22日～28日に大型ホームセンターのジョイフル本田で実施しました。フェア期間中は台風の接近によりあいにくの天候となりましたが、大森花卉では販売が好調で、競り終了時には在庫がほぼ終了するほどの盛況ぶりでした。

ジョイフル本田では、3本セットをフェア特別価格で販売しました。豊富なカラーバリエーションと手頃な価格が好評で、多くのお客様にご購入いただきました。27日(土)には本会職員が千葉ニュータウン店へ販売応援に入りました。お客様からはとりわけ淡いピンク色のスプレーカーネーションが人気でした。

全農長野は、世界情勢の影響により輸入品が少ない今だからこそ、本県産カーネーションの選別・品質の高さを、改めて多くのお客様に知っていただけるよう、売場づくりやPRに力を入れ、長野県産花きのファン拡大に取り組んでまいります。



3 J Aによる競り前の挨拶

(総務広報課)

御嶽海関を県産農畜産物で応援 出羽海部屋の木曾合宿で贈呈

J A木曾とJ A全農長野は、6月25日(木)から27日(土)に御嶽海関の地元木曾町で合宿をした出羽海部屋に、長野県産農畜産物を贈呈しました。24日(水)の歓迎式でJ A木曾の亀子宗樹組合長とJ A全農長野の川手秀樹管理部長が、目録と農畜産物のカゴ盛りを手渡しました(=表紙左上)。

贈呈したのは、J A木曾産の「御嶽はくさい」「御嶽生しいたけ」をはじめ、今が旬のレタス、セルリー、ブロッコリー、スイカや、えのきたけ、信州ポークなど合計100kg。

御嶽海関は「2場所連続の勝ち越しを3場所に伸ばせるように、この合宿でしっかり鍛えて、皆様の期待に応えたい」と意気込みました。

同部屋の木曾合宿は5回目で、J A木曾と全農長野は1回目から農畜産物を贈呈しています。



農畜産物のカゴ盛りを手渡す川手部長(右)

(株)マイパール長野・米穀課

J A佐久浅間産 特別栽培米の試食宣伝会を開催

J A佐久浅間、(株)マイパール長野、J A全農長野米穀課は、令和8年6月23日(火)に愛知県内で特別栽培米コシヒカリの試食宣伝会を開催しました。

会場は、愛知県を中心に店舗展開するユニー(株)の「アピタ鳴海店」と「アピタパワー大府店」の2店舗。来店されたお客様に炊きたての特別栽培米コシヒカリを試食

していただきながら、そのおいしさや魅力をPRしました。

ユニーでの試食宣伝会は2年

ぶりの開催となりました。試食したお客様からは、「甘みがあったおいしい」、「食感が良い」など好評の声が多く寄せられ、お米本来の味わいを実際に体験していただく貴重な機会となりました。

また、試食をきっかけに商品の購入につながるケースも多く見られ、実際に味わっていただくことの大切さを改めて実感しました。

今回の試食宣伝会を通じて、お客様との対話を大切にしながら特別栽培米の魅力を伝え、販売促進につなげることができました。今後も産地と実需者とのつながりを深めながら、長野県産米のさらなるPRに取り組んでまいります。



試食をすすめる職員



お客様に直接PR

米穀課

長野県産米春のお米キャンペーンを実施 ～県内外から14,657件の応募をいただきました～

J A全農長野米穀課は、長野県産米の消費拡大を目的に「長野県産米春のお米キャンペーン」を行い、県内外から14,657件の応募をいただきました。

キャンペーンは、対象商品の米袋に貼ってあるキャンペーンシールのシリアルナンバーを2つセットで応募すると、抽選で150名様に8,800円分のお米券をプレゼントするという内容でした。

抽選は7月7日(火)の食糧専門委員会で行い、当選者が決定しました。当選者へのプレゼントの発送は令和8年7月下旬を予定しています。

米穀課では、長野米の消費拡大をより一層進めてまいります。



食糧専門委員会による抽選
左から窪田副委員長、白鳥委員長、根津副本部長

(畜産酪農課)

下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ

J Aみなみ信州畜産協議会、J Aみなみ信州、J A全農長野は7月2日(木)、飯田市の三尋石集畜場で「第77回下伊那子山羊市場」を開催しました。

共進会では飯田下伊那地域の生産者が、この春に産まれた日本ザーネン種の子山羊16頭を出品しました。畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員が審査員となり、体格や乳房、生殖器の形質などを審査し、長野県知事賞に飯田市の北沢富久男さんの雄子山羊が選ばれました。

表彰式後に行われたセリでは、県内外から29名の購買者が参加し、1頭ずつ競り落とされました。雌19頭の平均価格は70,526円で最高価格は96,000円、雄6頭の平均価格は70,500円で最高価格は100,000円でした。全体の平均価格は70,520円で昨年より20,417円高い結果となりました。例年より出品頭数が少ないながらも活気あるセリとなりました。

今回で77回を迎えた伝統ある「下伊那子山羊市場」は、登録証付子山羊のみを扱う全国で唯一の競り市で、子山羊が離乳する7月に毎年開催しています。



畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員による審査

第77回下伊那子山羊共進会 入賞者名簿(敬称略)

	特別優秀賞	優秀賞	優良賞
雌の部	三池 一矢 (大鹿村)	一 英明 (飯田市)	横前 修 (喬木村)
雄の部	北沢富久男 (飯田市) ※長野県知事賞	城田 政治 (阿南町)	—

(総務広報課・野菜きのこ課)

自転車レースで「野菜ときのこのたっぷり汁」振る舞い

J A全農長野野菜きのこ課は6月28日(日)、松本市で開催された「ツール・ド・美ヶ原自転車レース」で「野菜ときのこのたっぷり汁」1,000杯を提供し、県産農産物をPRしました。

レースは、標高640mの松本市野球場をスタートし、標高1,910mの美ヶ原天狗の露路まで全長



21.6km、標高差1,270mのコースを、早い選手は1時間で駆け上がります。ゴール地点は気温13℃と肌寒く、スタート地点へ戻った選手は、温かい汁を次々と受け取りました。汁にはハクサイ、白ネギ、えのきたけ、ぶなしめじ、なめこをたっぷり入れ、汗をかいた選手に合わせてやや濃いめの味付けに仕上げました。選手は減量して大会に臨むため「具たくさんでおいしい」「おかわり、いいですか」と言って味わっていました。約8割が県外から参加した選手で、長野県産農産物のおいしさを知っていただく機会となりました。

営業課

ファミリーマートで長野県産食材を使用した商品を発売

J A全農の業務提携先である(株)ファミリーマートより、長野・山梨県食材を使用した商品が、6月23日(火)から7月20日(月)まで同県のファミリーマート約340店で発売されました。

J A全農長野営業課は、地元食材の魅力と地域のご当地グルメを楽しめるこだわりの6商品のうち、「長野県産セロリとキャベツ味噌マヨ」のセルリーとキャベツ、「富士吉田名物大盛吉田のうどん」のキャベツを供給しました。

全農長野営業課は、長野県産食材の魅力を生かした商品開発へ積極的に協力してまいります。



(改革推進・企画課)

子会社等が定時株主総会、通常総会を開催

J A全農長野子会社8社の定時株主総会並びに一般社団法人長野県農村工業研究所の通常総会が、令和8年6月に開催されました。

令和8年度の常勤取締役並びに常勤監査役・常勤理事は次の通りです。

会社・法人名	役 職	氏 名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長	佐藤 利久
	使用人兼務取締役・事業改革室長	大口 広忠
株式会社J Aアグリエール長野	代表取締役社長	金井 久雄
	専務取締役 (企画管理、物流事業)	竜野 竜
	使用人兼務取締役・企画管理部長 (肥料事業、企画管理 (財務担当))	宮寄 真一
株式会社マイパール長野	代表取締役社長	小川 郁男
	専務取締役	高木 昭彦
	常務取締役	岡村 修
長野県農協直販株式会社	代表取締役社長	平林 務
	専務取締役 (「法務・コンプライアンス室、品質保証室、経営企画室」統括)	青木 澄人
	常務取締役 (「管理部、鶏卵部、物流部」統括)	高山 仁孝
	常務取締役 (「総合営業部、食肉部」統括)	富岡 靖
	使用人兼務取締役・品質保証室長	松本 岩根
	使用人兼務取締役・総合営業部長、「物流部」担当	桐山 清志
	監査役	西澤 孝典
株式会社長野エーコープサプライ	代表取締役社長	工藤 政文
	専務取締役 (事業全般)	宮澤 秀実
	常務取締役 (セレモニー事業担当)	太田 義夫
	取締役 (管理・物流事業担当)	出澤 和幸
株式会社ジェイエイト長野	代表取締役社長	依田 稔
	常務取締役 販売事業部長	小布施広紀
	使用人兼務取締役 企画開発室長、県域事業部長	小池 英樹
株式会社長野県食肉公社	代表取締役社長	村山 壮一
信州ミルクランド株式会社	代表取締役社長	久米 仁司
	専務取締役	瀧本 勝成
	使用人兼務取締役・工場長	堀 健一
	使用人兼務取締役・品質保証部長	武居 正浩
一般社団法人長野県農村工業研究所	常務理事	井出 光俊

JA全農長野の事業現況

令和8年度6月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	0
野菜種苗センター		75	96	94
生産振興部計		75	96	94
米	穀	6,717	94	134
果実花き		2,040	98	118
野菜きのこ		13,530	110	111
営業		2,201	91	100
生産販売部計		24,489	102	116
農業資材		3,338	141	139
肥料農薬		2,744	106	105
農業機械		2,192	115	108
施設住宅		855	152	123
生産購買部計		9,129	123	118
畜産酪農		8,201	108	107
三岳牧場		11	18	14
S P F繁殖センター		75	93	111
八ヶ岳牧場		70	84	94
畜産酪農部計		8,358	107	106
燃料・ホームエネルギー		6,029	103	100
S S 協同経営		1,754	109	91
くらし		1,779	98	97
くらし支援部計		9,562	103	98
長野県本部計		51,612	106	111

(内部販売高含む)

8月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演予定
8/11(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「いい」JA家庭菜園	JAあづみ JAファームみど りの店
8/26(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	果実花き課

経友会情報

【長水支部】

令和8年度長水経友会定期総会が6月16日にJA長野県ビル12A会議室で開催されました。会員26名の方が参加され、JA全農長野からは長谷川本部長と安武北信事業所長が出席しました。事業報告では令和7年6月に開催された定期総会内容の報告や8年度の活動計画・役員改選などが決議されました。総会終了後には、長野中央警察署の三井巡査による特殊詐欺等防犯対策研修として、特殊詐欺の典型事例紹介がありました。JA全農長野 長谷川本部長からは統合後の動きと直近情勢報告を行いました。また、埋橋県会議員による県政報告がありました。旧役員会長の小林哲男さんをはじめ他役員の皆さん、2年間大変お疲れ様でした。令和8～9年度新役員の皆さんは次のとおりです。

新役員 会長：池田伸一さん
副会長：吉村智之さん・外谷昌幸さん
会計：山口秀幸さん
監事：滝沢新吾さん・武井修一さん

【上小支部】

令和8年度経友会上小支部定期総会が、6月16日に上田市の「東急REIホテル」で開催されました。会員13名の方が参加され、JA全農長野からは手島東信事業所長と町井課長が出席し、令和7年度事業報告と8年度事業計画、昨今の農業を取り巻く情勢の説明等を行いました。

総会の事業報告では令和7年5月の役員会、6月の定期総会および10月の秋季懇談会の報告がありました。

8年度事業計画と収支予算の決定もされ、当日、欠席された会員の近況メッセージが紹介されました。また、10月を目途に秋季懇談会：松茸を囲む会のご案内がありました。

令和7～8年度役員は次のとおりです。
役員 支部長：小林正司さん
副支部長・会計：白石文昭さん
監事：増田 敏さん

営業課 市場営業グループ
からのおしらせ

地域密着型スーパー「デリシア」 の3店舗に果実・野菜の “全農長野売場”を展開

JA全農長野営業課市場営業グループでは、JA系統品の消費喚起と消費者へのPRを目的に、長野県の地域密着型スーパー「デリシア」3店舗の果実売り場と野菜売り場に、“全農長野売場”を展開中です。

今が旬の商品を取り揃え、季節感を十分に感じていただける売場となっています。ぜひお近くの実施店舗へ足をお運びください。

市場営業グループは、今後も系統品青果物の消費拡大に向け、市場・実需者と連携を図りながら、旬の魅力をPRしてまいります。

“全農長野売場”

実施期間 7月13日(月)～10月末(予定)
実施店舗 須坂西店、三輪店、篠ノ井東店



野菜売り場

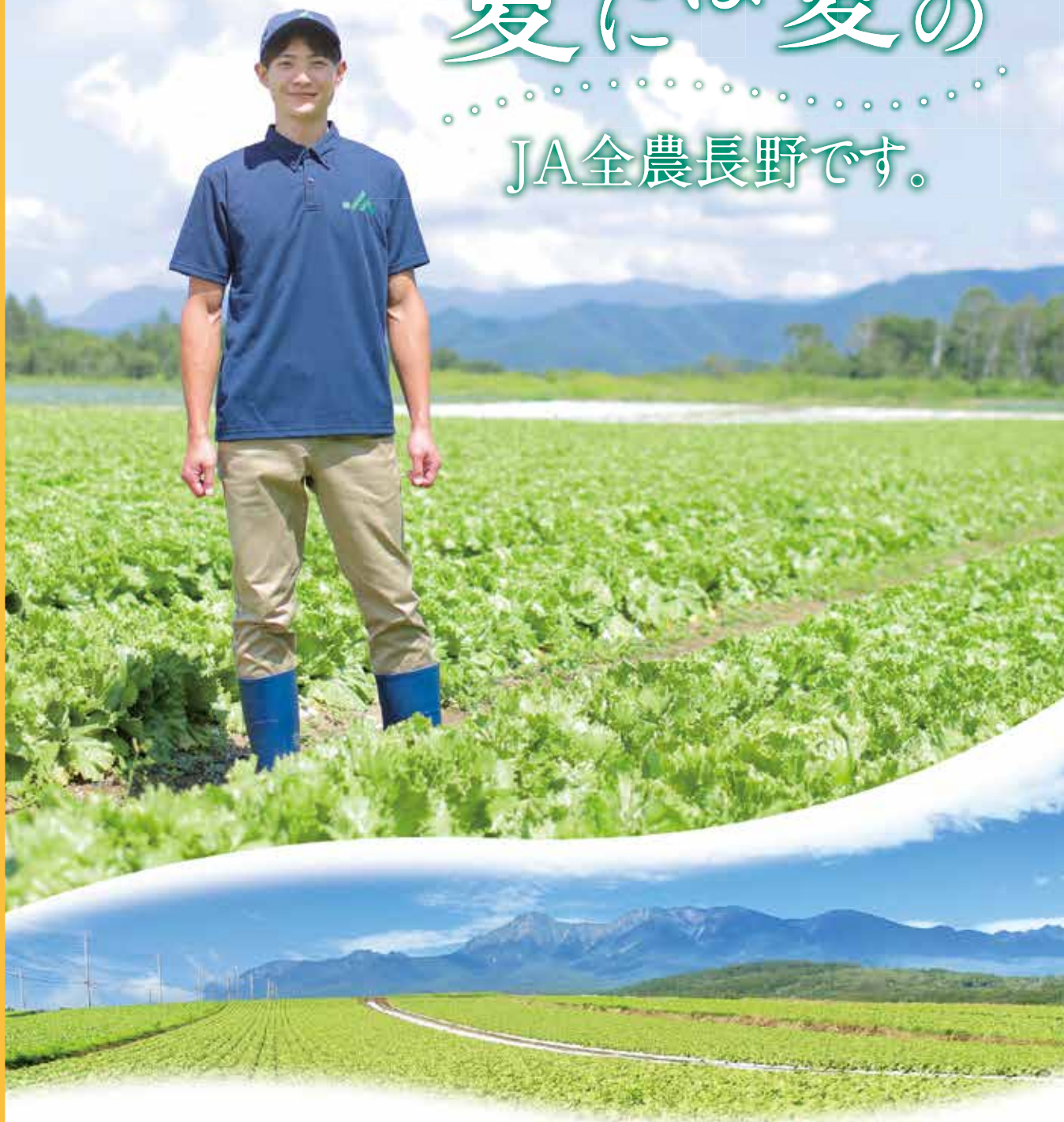


果実売り場

夏には夏の

.....

JA全農長野です。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

